お客さまこんにちは

株式会社三真千葉工場（あられちゃん家・ニューラッキー食堂）

〒299-4111　千葉県茂原市萱場2244-1
☎0475-34-3934　www.san-shin.com

千葉工場の入り口から。右側はいすみ鉄道から譲渡された鉄道車両

工場入口にあるいすみ鉄道から譲り受けた鉄道車両。ランドマークとして工場の目印にもなっています

田んぼの中のあられ工場

千葉県東部のほぼ中央に位置する茂原市。周囲を田んぼに囲まれたのどかな田園地帯の一本道を進むと、道路沿いに黄色い電車の車両が見えてきます。電車の車両の横には「あられちゃん家（ち）営業中」の看板。敷地の中央には、平屋建ての工場があり、製品を出荷するためのフォークリフトが忙しく動き回っています。

この工場が、今回紹介する株式会社三真の千葉工場です。看板が出ていた「あられちゃん家」は、工場で生産されたお菓子の直売所です。

定番は「柿の種」

「当社は、米菓・あられメーカーとして、卸問屋や直売店を通じてあられやおかき、おせんべいといった米菓を提供しています」と企画開発課課長の飯島美津子さま。もともとは、東京・銀座で和菓子とせんべいやあられを製造していた「銀座江戸一」（1940年創業）がルーツ。株式会社三真は1973年に設立され、千葉県茂原市で米菓の製造を開始。今年で52年目を迎え、同社の製品は、茂原市の名物となりました。

工場直売店「あられちゃん家」では、流通費用がかかっていない分、おトクな価格で同社製品を販売。土日には、地元の人を中心にお客さまで混雑します。掘り出し物が工場から届くと、あっという間に完売！ まさに「お菓子のアウトレット」です。

売上のトップは「柿の種」。もち米と地元・銚子産の本醸造醤油を使い手作りで焼き上げた逸品で、「香ばしさや味の深みが違う」と、多くの支持を集めています。

あられちゃん家には、味の種類や大きさも豊富な「柿の種」が並びます。選び放題で、迷ってしまうほど。定番のあられ商品、おせんべいなどの米菓も根強い人気があります。

コラボ商品やアイデア商品も

あられちゃん家で驚くのは、商品の種類の多さ。有名飲食店とのコラボ商品や、オリジナルの企画商品など「常に何百種類かの商品があります」（飯島さま）とのこと。

コラボ商品の中で最も有名なのが、「ラッキーマヨネーズ」。「テレビ番組でもたびたび取り上げられて、直売所でも人気上位」（飯島さま）なのだといいます。

直売所の一番人気・柿の種コーナー。さまざまなサイズ・種類の柿の種がそろっています

ぬれせんべいやおかきなどオーソドックスな定番商品も豊富に品ぞろえ

新商品コーナー。毎月のように新商品を企画・開発しています

とりもつ揚げせんべいなど、工夫を凝らした商品が

新商品真「ふんわりコーン」。食感や味覚にこだわった新製品を企画し続けています

太い線で描かれた小鳥がかわいいパッケージのおかきは、コンビニエンスストアでヒット。このパッケージは、カプセルトイや靴下といった関連小物まで人気アイテムになりました。

同社のオリジナル商品も種類豊富です。「創作米菓」をコンセプトに、伝統的な手法を残しつつ、新しい製法を使って、新商品を毎月のように出し続けています。

「お客さまのいろいろな好みにお応えして、新しいもの、新しい定番をつくっていくのが、当社のコンセプト」と飯島さま。〝かわいい〟と評判のパッケージやネーミングも、消費者の目線を中心にして、従業員の意見を取り入れながらつくっていくそうです。

ニューラッキー食堂も大人気

もうひとつ、同千葉工場で評判を集めているのが、「ニューラッキー食堂」。〝激安グルメ〟としてテレビの情報番組にしばしば登場します。

ニューラッキー食堂はセルフ形式の食堂。入り口横のメニューで食べたいもののを選びます

一面真っ白の「天空のカレーうどん」。カレーと白いクリームが絡まり、高級店の味を楽しめます

ニューラッキー食堂の飲食コーナー入口。横のイラストは加藤久幸社長自ら筆を執ったそうです

中華そば190円（以下税込）、ライスカレー・煮込み牛丼330円など、格安な価格にもかかわらず「おいしい」と評判。煮込み牛丼は、甘めに煮込まれ、牛肉のうまみが濃縮された逸品。おしるこやおはぎ、おだんごといった「甘味」も格安です。

数量限定の「天空のカレーうどん」（500円）は、カレーうどんの上を特製の白いクリームが覆っていて、カレーうどんには見えません。食べると、カレースープと濃厚なクリームが絡まり、カレーポタージュのような「高級店の味」が楽しめます。

この食堂は、工場の社員食堂を開放したもの。「お客さまの『近くにレストランはないの？』という声に応えました。食材はお菓子の醤油やおコメを共有できるので、安く提供できるのです」と飯島さま。ここにも「消費者目線」が徹底されています。

企画開発課 課長の飯島さま

絶縁監視装置に信頼感

数百種類ものお菓子を製造している千葉工場では、生産現場も昼夜通して稼働しています。

それだけに、「関東電気保安協会さんは、電気設備に不具合があれば、すぐに工場へ来てくれて、問題を解決してくれます。本当に助かっています」と飯島さま。電気安全の信頼性に寄与しているのが、絶縁監視装置です。異常があれば、当協会の「総合監視指令センター」に自動で警報が届きますので、株式会社三真さまにも、安心して電気をお使いいただいているようです。

商品一つ一つにこだわりを持ち、妥協せずにおいしいお菓子を提供している株式会社三真さま。その期待に応えられるよう、当協会も電気の安全で協力してまいります。